

平成 27 年度 公益財団法人 J K A 競輪補助事業完了のお知らせ

宮城県においては、新結核登録患者数のうち 70 歳以上の割合が 6 割を超え、結核患者の高齢化が進んでいます。東日本大震災からの復旧、復興は着実に進みはじめていますが、震災の影響により体調面で不安を抱え日々の生活を送っている方たちもいます。これらの方に受診機会と利便性、質の高い検診を提供していくことは、市町村等だけでなく公益法人である当法人に課せられた役割だと考えます。

この度、平成 27 年度の公益財団法人 JKA の競輪公益資金による補助を受けて、リフト付き胸部 X 線デジタル検診車「みやぎ 9 号」が完成しました。

本事業の実施により、最新のデジタル撮影装置と昇降用リフトを搭載した検診車を整備・導入できました。県内各市町村をはじめ学校、事業所、老人保健施設等で実施する巡回検診をさらに充実させ、県民の皆様により安全で精度の高い検診を提供していきたいと考えております。

事業名	平成 27 年度検診車の整備補助事業
事業の内容	胸部 X 線デジタル検診車の整備
補助金額	10,500,000 円
実施場所	宮城県仙台市青葉区中山吉成二丁目 3-1
完了年月日	平成 28 年 2 月 24 日

〔車両外観〕





〔搭載機器〕



「みやぎ9号」の主な特徴

〔主要諸元〕

全長 8,320mm 全幅 2,400mm 全高 3,200mm 総重量 9,540kg

総排気量 6,400cc 定員 10人

- ・ 最新のデジタル装置によりフィルムレスと均一で濃度の安定した高画質な画像を実現
- ・ 受診者の安全面を配慮し、昇降用リフトや車高調整機能を装備、また、待合室の座席数や出入り口の手摺りを増設

当法人が県内各市町村、学校、事業所、老人保健施設などで実施する胸部X線撮影をデジタル方式で撮影することで、均一で濃度の安定した高画質な画像での判定が可能となり、診断の精度が向上します。また、昇降用リフトを使用することで、老人保健施設などで高齢者や体の不自由な方へ受診機会と利便性、より質の高い検診を提供することが可能となります。

「みやぎ9号」を東日本大震災で大きな被害を受けた沿岸部の市町村の住民検診や老人保健福祉施設の検診などを中心に有効活用し、健診受診者に対し、より精度の高い検診、利便性の高い検診を提供することで、結核・肺がんなどの胸部をはじめとする疾病の予防と早期発見、早期治療に取り組み、宮城県民の保健福祉の向上を図り、公益法人としての役割を果たしていきます。

最後に、公益財団法人 JKA をはじめ製作にご協力いただいた関係者の皆様に感謝を申し上げます。